

各 位

**株式会社サニックス**

経済産業省 平成 30 年度補助金事業  
「需要家側エネルギーリソースを活用したバーチャルパワープラント構築実証事業」  
への参画に関するお知らせ

当社、株式会社サニックス（本社：福岡県福岡市、代表取締役社長：宗政寛）は、経済産業省資源エネルギー庁の平成 30 年度補助金事業である「需要家側エネルギーリソースを活用したバーチャルパワープラント構築実証事業」において、「B-1 事業：VPP アグリゲーター事業」の間接補助事業者として採択されたことをお知らせいたします。なお、本事業はソフトバンクグループで自然エネルギー事業などを行う S B エナジー株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：三輪茂基、以下「SB エナジー」）と連携して実施します。

当社は、「次世代へ快適な環境を」という企業理念を掲げており、その具現化のために「再生可能エネルギーの普及拡大」に資する事業を展開しております。本実証事業にて構築されるバーチャルパワープラント（以下、「VPP」）は、需要家側に設置する蓄電設備を遠隔・統合制御し、一つの仮想的な発電所として機能させる高度なエネルギーマネジメント技術として、既存の電力供給システムが抱える課題を解決し、電力供給システムと再生可能エネルギーの共存共栄を促進するための第一歩の取り組みと考えております。昨年度も、同実証事業にはリソースアグリゲーターとして参画しておりました。

今回、当社が行う平成 30 年度 VPP 実証事業は以下の通りです。

採択事業	事業名	事業内容
B-1 事業	VPP アグリゲーター事業	VPP 整備基盤事業者からのデマンドレスポンス（DR）指令を受けて、VPP 実証を行い、VPP 構築に向けて技術実証、制度的課題の洗い出しを行う事業。

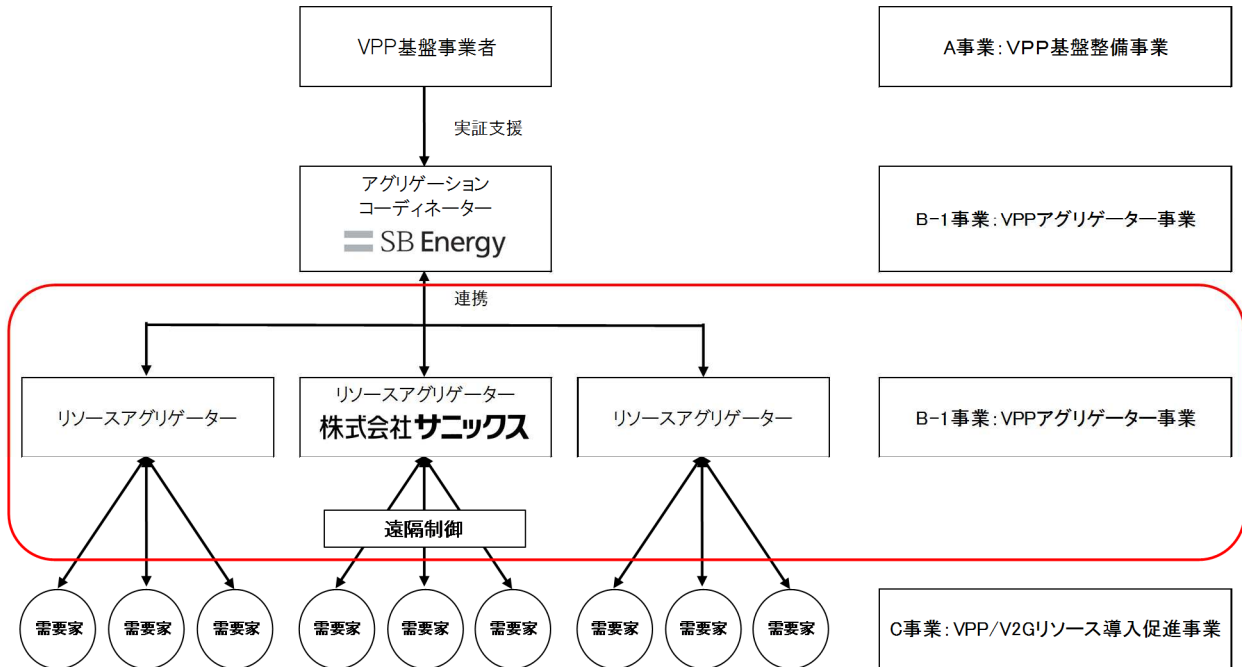
本実証事業の B-1 事業において当社が登録された「リソースアグリゲーター」とは、需要家側に導入する蓄電池等のリソースに対し、充電・放電等の指令を出して、電力系統上に分散導入された再生可能エネルギー発電設備の遠隔制御および統合管理を行う事業者にあたります。リソースアグリゲーターとしての当社は、本実証事業の B-1 事業において「アグリゲーションコーディネーター」に採択された SB エナジーからの指令を受けて、需要家側の蓄電池を含む太陽光発電システムの遠隔制御を行います。当社は、本実証事業の中で、電力会社による電力系統の需給調整に関する要求が出た際に需要家側蓄電池に対し適切な充電・放電指令を出すことで、これまで火力発電所等が行っていた電力系統安定化のための調整予備力を需要家側蓄電池から提供する仕組みについて検証を行います。

当社は、これらの取り組みを通じ、再生可能エネルギーと電力系統との親和性を高め、日本中の屋根に太陽光発電が設置される時代を目指して、再生可能エネルギーの普及拡大のための具体的なソリューションを世の中に提供していきます。

以 上

【ご参考】

■ VPP 構築実証事業全体イメージ



採択事業	事業名	事業内容
A 事業	VPP 基盤整備事業	B-1 事業で採択された VPP アグリゲーターの実証を支援し、事業課題等の調査・分析及び必要なシステム開発を行う事業。
B-1 事業	VPP アグリゲーター事業	VPP 整備基盤事業者からのデマンドレスポンス (DR) 指令を受けて、VPP 実証を行い、VPP 構築に向けて技術実証、制度的課題の洗い出しを行う事業。
B-2 事業	V2G アグリゲーター事業	電気自動車等 (EV/PHV) を活用し、V2G 実証を行い、V2G 構築に向けて技術実証、制度的課題の抽出を行う事業。
C 事業	VPP/V2G リソース導入促進事業	B-1、B-2 事業で採択された VPP/V2G アグリゲーターが制御を行う蓄電池等のリソースや制御装置等の導入を支援する事業。

■ 参考資料

一般社団法人環境共創イニシアチブ

平成 30 年度「需要家側エネルギーリソースを活用した VPP 構築実証事業費補助金」 (VPP)

<https://sii.or.jp/vpp30/>

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社サニックス 事業戦略室

TEL : 092-284-5072

[jisenml@sanix.jp](mailto:jisenml@sanix.jp)